

49 回生シラバス

科目名： 看護管理	単位数： 1	担当者： ①副校長（臨床実務経験有） ②看護師（医療安全管理者）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 3年前期
科目目標： ・看護管理の意義と看護における様々なマネジメントについて理解する。 ・医療安全の基礎知識を学び事故防止に対する考え方を理解する。 ・国際社会における看護師としての諸外国との協力について考える。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	看護とマネジメント 看護ケアのマネジメント	・看護管理の意義と看護における様々なマネジメントについて理解する。 1. 看護管理学とは 2. 看護におけるマネジメント 3. 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 4. 患者の権利の尊重 5. 安全管理 6. チーム医療 7. 看護業務の実践	講義 ①	教科書①第1章 教科書①第2章
2	看護職とキャリア	・看護職としてのキャリアマネジメントについて理解する。 1. 看護職のキャリア形成 2. タイムマネジメント 3. ストレスマネジメント	講義 ①	教科書①第3章
3	看護サービスのマネジメント	・看護サービスのマネジメントについて理解する。 1. 看護サービスのマネジメント 2. 組織目的達成のマネジメント 3. 看護サービス提供のしくみづくり 4. 施設・設備環境のマネジメント 5. 物品のマネジメント 6. 情報のマネジメント 7. リスクマネジメント 8. サービスの評価	講義 ①	教科書①第4章
4	マネジメントに必要な知識と技術	・マネジメントに必要な知識と技術を理解する 1. マネジメントとは 2. 組織とマネジメント 3. リーダーシップとマネジメント 4. 組織の調整	講義 ①	教科書①第5章
5	看護を取り巻く諸制度	・看護を取り巻く諸制度について理解する。 1. 看護の定義 2. 看護職 3. 医療制度 4. 看護政策と制度	講義 ①	教科書①第6章
6	国際看護	・国際看護の定義と医療における異文化理解について理解する。 1. 国際看護とは 2. グローバルヘルス 3. 国際協力のしくみ	講義 ①	教科書③第4章
7			講義 ①	

		<ul style="list-style-type: none"> 4. 文化を考慮した看護 5. 国際協力と看護 6. 国際救援と看護 		
8	事故防止の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止の考え方について理解する。 1. 医療事故と看護業務 2. 看護事故の構造 3. 看護事故防止の考え方 	講義 ②	教科書②第1章
9	診療の補助の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 1. 注射業務と事故防止 2. 輸血業務と事故防止 3. 内服と薬業務と事故防止 4. 経管栄養業務と事故防止 5. チューブ管理と事故防止 	講義 ②	教科書②第2章・ 第3章
	療養上の世話の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 1. 転倒転落防止 2. 摂食中の窒息・誤嚥事故防止 3. 入浴中の事故防止 		教科書②第4章
10	業務領域を超えて共通する間違いと発声要因	<ul style="list-style-type: none"> 1. 患者間違い 2. 間違いを誘発する多重課題 3. 新人特有の思い込みと行動パターン 	講義 ②	教科書②第5章
11	医療安全とコミュニケーション 看護師の労働安全衛生上の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事故防止のための医療職コミュニケーション 1. 職業感染 2. 抗がん剤曝露防止 3. 放射線曝露防止 4. ラテックスアレルギー 5. 院内暴力 	講義 ②	教科書②第6章 教科書②第7章
	組織的な安全管理体制	<ul style="list-style-type: none"> 1. 組織としての医療安全対策 2. システムとしての事故防止の具体例 3. 重大事故発生時の医療チーム及び組織の対応 		教科書②第8章
12	看護学生の実習と安全	<ul style="list-style-type: none"> 1. 実習における事故の法的責任と補償 2. 事故予防および事故発生時の学生の対応 	講義 ②	教科書④
13	事例から学ぶ事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・事例から事故の原因・要因及び事故防止策を学ぶ。 	講義・演習 ②	
14	全体討議	<ul style="list-style-type: none"> 提示された事例を教材に、事故の原因・要因及び事故防止対策をグループで検討・全体討議 	講義・演習 ②	
	技術到達項目	<ul style="list-style-type: none"> 1. インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告 	講義・演習 ②	
15	終講試験		試験 ①	
教科書			評価方法	筆記試験
①	(系看) 看護管理	(医学書院 e テキスト)	【配点】	
②	(系看) 医療安全	(医学書院 e テキスト)	医療安全管理者	50点
③	(系看) 国際看護学	(医学書院 e テキスト)	副校長	50点
④	医療安全ワークブック	(医学書院)	評価基準	
			60点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり

49 回生シラバス

科目名：	単位数：	担当者（実務経験）：	総時間数（回数）：	時期：
看護の統合と実践 II	1	教務長（臨床実務経験有）	45(23)	3年前期～後期
<p>・既習の知識、技術を統合し、より臨床に近い複雑な事例の患者に適した看護を実践できる能力を養う。</p> <p>1.複数受け持ち・多重課題の対応について学ぶ。</p> <p>（1）複数患者の状態を理解して優先順位を考えた計画を立案し実践する</p> <p>（2）看護実践中の突発的事象に対して対処方法を考える</p> <p>2.医療チームの一員として連携、協働することについて学ぶ。</p> <p>（1）適切な報告・相談について学ぶ</p> <p>3.基礎看護技術を修得する。</p> <p>（1）創傷処置（ドレッシング交換）の介助</p> <p>（2）点滴静脈内注射の実施と輸液ポンプの基本的操作</p>				
回	単元	単元目標と内容	方法	事前課題 学習範囲
1回	【導入】 プロフェッショナルとは	1.プロフェッショナルとは 2.看護の力とは	講義 DVD④45分	課題1「プロフェッショナルとは」
2回 3回 4回	【多重課題の対応】	1.多重課題の対応 2.SBAR等コミュニケーションツールを用いた報告・相談	DVD①16分 DVD②19分 DVD③20分 グループワーク	課題2「SBARを用いた報告」
5回	【基礎看護技術：創傷処置】	看護技術修得（1）「創傷処置」 ・創傷ドレッシング交換	デモスト・演習 教材セット	【事前課題】 ①「創傷処置」技術手順 学内チェックリスト
6回 7回	授業内評価 「創傷処置」	看護技術修得（1）「創傷処置」 ・創傷ドレッシング交換 1.シミュレーション教育について	授業内評価 教材セット	
8回 9回 10回 11回 12回	【基礎看護技術：点滴静脈内注射の実施と輸液ポンプ】 【複数患者の検温】	看護技術（2）「点滴静脈内注射の実施と輸液ポンプ」 ・輸液の準備（プライミング） ・静脈内留 ・翼状針の刺入 ・三方活栓の取り扱い ・固定 ・輸液ポンプの操作	デモスト・演習 教材セット 授業内評価 教材セット ※本技術は、卒業前一斉評価で評価する	【事前課題】 ①「点滴静脈内注射」技術手順 ②「輸液ポンプの基本操作」技術手順 ③学内チェックリスト
13回 14回 15回 16回	【複数患者の観察と確認Ⅰ】	1.複数患者の観察・バイタルサイン測定 ・複数患者の情報の把握 ・優先順位を考慮した行動計画 ・患者の状態に応じたバイタル測定・アセスメント ・優先順位を考慮した報告	シミュレーション	

17回 18回 19回 20回	【複数患者の観察と 確認Ⅱ】	1.複数患者の観察・バイタルサイン測定 ・複数患者の情報の把握 ・優先順位を考慮した行動計画 ・患者の状態に応じたバイタル測定・アセスメント ・優先順位を考慮した報告	シミュレーション	
21回	【チーム医療】	1. チーム医療とは ・リーダーシップとメンバーシップ	講義	
22回 23回	【まとめ】 終講試験	1. 看護業務基準 2. 看護者の倫理綱領 3.看護の力とは	講義 DVD⑤45分	
教科書			評価方法	
教科書 教材 配付資料 DVD ①よくある場面から学ぶ多重課題 Vol.1 総論・予定変更1 ②よくある場面から学ぶ多重課題 Vol.2 予定変更2 (報告・相談)・複数の行為 ③よくある場面から学ぶ多重課題 Vol.3 複数の人との関わり ④プロフェッショナル仕事の流儀 専門看護師北村愛子の仕事 ⑤プロフェッショナル仕事の流儀 専門看護師田村恵子の仕事			【評価方法】 ・終講試験 100点 ・このほかの課題提出状況、演習参加状況により、加点、減点する場合がある。	
			評価基準 60点以上で合格とする。	

49 回生 シラバス

科目名： 看護の統合と実践実習	単位数： 2	担当者（実務経験）： 教務長（臨床実務経験有） 臨地実習指導者	総時間数： 90	時期： 3年次
科目目標： 1 病院組織における看護部の役割、病棟看護師長の役割を学び、看護管理の実際を理解する。 2 看護チームにおけるリーダーの役割を学び、看護チームの一員としてのリーダーシップ、メンバーシップの重要性を理解する。 3 複数患者受け持ちを通して、多重課題時の優先順位や時間配分を判断し看護実践する。 4 夜勤帯の病棟環境の特徴と看護の留意点を理解する。 5 看護者として望ましい態度がとれる。 6 実習を通しての学びを記述し、看護専門職としての自己の課題を明確にする。				
授業内容			授業方法	場所
1. 看護師長の役割・業務(看護単位のマネジメント)の実際について説明できる。 2. 医療・看護の質における看護管理の重要性について説明できる。 3. 看護チームの一員としてリーダーシップ、メンバーシップについて説明できる。 4. 看護チームでの患者情報共有のための行動がとれる。 5. 受け持ち患者の状態を適切にアセスメントし、必要な看護が計画できる。 6. 複数患者の看護を実践するために適切なタイムスケジュールが立案できる。 7. 計画に基づく実施ができるよう行動し、状況に応じて計画の修正、変更、調整ができる。 8. 夜勤帯における療養環境の特徴について述べる事ができる。 9. 夜勤帯における患者の観察について述べる事ができる。 10. 夜勤帯における看護の留意点について述べる事ができる。 11. 倫理観に基づく判断、行動であり、誠実な態度で対象を尊重することができる。 12. 実習期間を通して責任を自覚した学習姿勢で臨むことができる。 13. 自己の傾向を踏まえ、看護専門職として高めるべき倫理的行動について記述できる。			病院実習 90時間	岡山労災病院
評価方法 実習評価表に基づき出席状況・実習記録・実習態度等による総合評価とする。				
評価基準 60点以上で合格とする。				